



この冬はしっかりと寒く、子ども達の冷たい手に触ると静電気がびりびり！どんなに寒くても、外で遊びたい子ども達が愛おしいです。そしてここまでインフルエンザはほとんど皆無、風邪でお休みもとても少なかったので、嬉しい限りです。

発表会が無事終わり、今年も本当に素敵な作品ができました。予期せぬ事態も発表会の最中に起こっても、子ども達が自分の頭で考えて問題解決したり、友達をさりげなくフォローしたりすることを目にしました。そんな時に、幼稚園生活の経験で培われた子ども達の力を感じるのです。困っている友達は自然に助けられる、素敵なシーンを何度も見せてもらいました。

ひとつの劇を作り上げる、という共通のイメージと音楽で、どんな子ども自分の思う通りに表現できるこの作品づくりはまさに世界にひとつだけのものです。

支援の必要なお子さんも一緒に、行ないました。発表会には出ない、とお決めになった保護者の方もいらっしゃると思います。それもひとつの表現として受け止めています。色んな表現方法を、認めていける世の中であって欲しいです。臼井幼稚園は、色んな子どもがいて、みんな違ってみんないい。かっこいい理念とか、「こういう子を育てます」とか、机上の理想は不要だと思っています。子ども達はみんな生きていて、煌々しい。枠にはめられないからこそ美しいのです。

アクティブラーニングと文科省が推進している小学校教育は英会話もタブレットも取り入れてはいますが、本当に一人ひとりが得意なことを好きなように伸ばせる環境にあるのか？疑問を覚えずにはられません。

幼稚園では年長の3学期頃に、個性がぐっと出てきます。私の感覚ですが、際立ってくるのが3学期、もっと早い子どももちろんいます。そうすると、もう卒園を迎えます。寂しくて晴れやかな旅立ちの日。この個性をどんどん伸ばして行って欲しいです。そのためには、親御さんのお子さんへの向き合い方が大変大切です。全面的に自分を受けて入れてくれる親御さんがいるからこそ、子どもは社会でもやっていけるのです。親御さんに信頼され、愛されているからこそ、先生を信頼できる子どもに育ちます。絶対に受容されている子どもは自己肯定感があり、生きていく力が自然に身につきます。

世の中が、お母さま方も働くことを求め、そうしなければ生活するのが難しいように政治が仕向けています。だから保育園を乱立しているのです。そこで抗うにはあまりに無力で、ただただ経済的につらくなるだけ。。怒りでいっぱいですが、仕方ない。

それでもいい教育を、と臼井幼稚園を選んでくださった皆さまに、いつも感謝しています。これからも努力して参ります。

園長 志田裕美子

<担任から今月のメッセージ>

「かっこいいバムケロになれる人——？」

「は——い！」

「よーし！じゃあ、みんなでかっこいい飛行機に変身してみよう！」

「じゃあ、次はみんなでたか——くジャンプして、出発だ！するよー！」

「しゅっぱつだ♪」と、気合をいれて始まったバムケロ！

本番は泣いてしまうかな？と心配だった子たちに

「明日かっこいいバムケロになるから、ニコニコ笑顔で来てね！」と前日にお約束の指切りげんまん！当日の笑顔にとっても嬉しくなって、ぎゅーと抱きしめてしまいました。緊張して動けなくなっていた子もいましたが、それでも堂々と歌を歌っている姿を見て、とても感動しました。

まだ、2歳3歳！難しいことはできない！なんて思いがちですが、普段の発表会ごっこから、ピアノに合わせ動いて走ってジャンプしてと、みんなはすぐに吸収して、お友だちと飛行機をつくり、飛行機に変身して空の旅でゆらゆらしたりと、最高の冒険の旅に全員で作り上げることができました。

みんなの全力のバムケロに嬉しくなり、終わってから思わず、「いえええええええい！」と叫んでしまい、後で「すごい声でしたね」と、他の先生たちから笑われてしまいました。みんなのかっこよすぎるバムケロに、大感動でいちご組へ戻り、全員で集まってぎゅー——と抱きしめ合いました。

毎年、年少、年中、年長の元さくらの子の劇を見て、「あ！今年は泣かずにかっこいい！」「大きな声で歌ってる！」「しっかり役になりきっててかっこいい！」と、さくら組の時を思い出し、感動しています。小さいまま、このままでいて欲しい！なんて思ってしまうのですが、さくらの可愛すぎるバムケロを見てみると、「成長するって素敵なことだな」と感じます。小さい体で一生懸命役になりきり、全力で楽しんでいるみんなは、本当に輝いていました。

毎年この発表会のたびに、「去年はまだこんなに小さかったのに、なんて立派にできるようになったんだ」と、成長の瞬間を目の当たりにして胸がいっぱいになります。そして、また来年もみんなのかっこいい発表会を見届けられるのが楽しみです。

本当にみんな、かっこよくて素敵なバムケロだったよ！ありがとう！

さくら組もあと数日になり、みんなは小さい組さんになることをとても楽しみにしています。ついこの間入園だった気がするのにな、と私は寂しい気持ちですが、残りの時間を全力でみんなと過ごしていきます！

高橋 まりこ